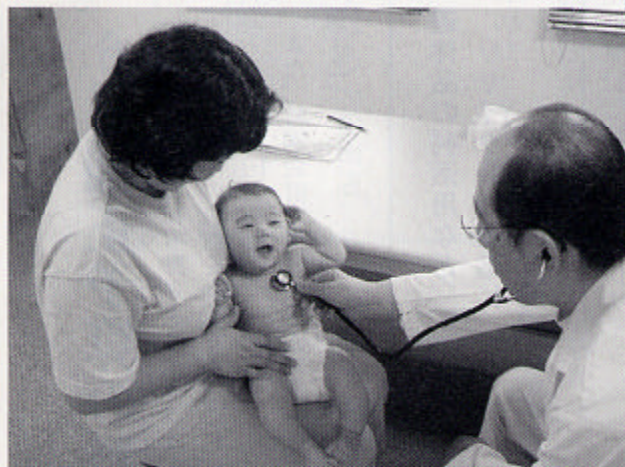


議会だよりの入善

GIKAI DAYORI NYUZEN

No. 126
2003年7月27日



元気に育って 4カ月児検診

6月定例会

子育てサポート事業に助成	補正予算	2
「ムサシ」出店実現の請願は継続審査	請願・陳情	3
海藻類の生息悪化で藻場造成調査	常任委員会	4
合併特例債の活用計画は	合併問題特別委員会	5
町政を問う 代表・一般質問(10議員)		6
シリーズ海洋深層水		17
「リフレッシュして仕事や生活を楽しむ」		18

リサイクルセンター・再生広場を新設

りさいくる
利再来館は米澤記念館向かいに、
再生広場は市街地と飯野地区に

6月補正予算の概要

今回の補正予算はリサイクルセンター、再生広場の設置費をはじめ、子育てサポートセンターやアドバイザーの設置を助成する。これにより一般会計の補正額は1億3272万円で、総額は95億7456万円となった。
また、特別会計では国の補正に伴い下水道事業費を増額し、管渠、浄化センター水処理施設を整備する。

遊休品の利活用など

リサイクルの推進に
989万円

米澤記念館向かいにリサイクルセンターとして「生活利再来館」を設置し、日常の遊休品の利活用を図る。社会福祉法人「いかわ苑」に運営を委託する。

また、市街地と飯野地区に新たに資源ゴミ回収の「再生広場」を設置する。

学校の耐震診断などに

1550万円

学校施設が災害時の避難場所としても大きな役割を果たすことから、災害に耐えうる建物かどうかを調査する。

入善西中学校特別教室棟を耐力調査し、入善中学校の校

舎及び体育館について耐震診断を実施する。

働く人の子育て支援に

206万円

乳幼児から小学校低学年を対象として、仕事と育児の両立を支援するため、社会福祉



手狭となった上原再生広場

協議会（サンウエル）のファミリーサポートセンター設置と、アドバイザーの配置を助成する。

センターではサービスを受けた人、サービスを行った人を会員に登録し、自宅での保育や送迎などを実施する。

児童保育希望者の増員に対応して
156万円

飯野校下での児童保育を希望する人が、昨年度の2倍以上の33人となった。

このため、農村環境改善センターの保育室を広い部屋に移動し、専用の出入口を設置する。指導員は1人増員し、2人体制で実施する。

道路拡幅や舗装に

5000万円

道路拡幅では藤原長島線ほか1本、舗装では笹原東狐線ほか7カ所、そのほか側溝改良を実施する。

管渠延長など下水道整備事業に2億3322万円

国の補正に伴い、管渠2000mの延長と浄化センター水処理施設を整備し、事業の進捗を図る。

舟見七夕祭り補助金増額についての請願

請願者 舟見地区区長会長ほか8人
舟見七夕祭り運営補助金の増額を町に求める。議論を要するとして継続審査とした。

八幡地区く君島地区の町道拡幅に関する請願

請願者 八幡地区1区区長ほか1人
日常・災害時の避難道路として町に拡幅を求める。賛成全員で採択した。

八幡地区く青島用水間の防潮林設置に関する請願

請願者 八幡地区1区区長ほか1人
塩害防止のため町に防潮林の設置を求める。賛成全員で採択した。

大型店「ホームセンタームサシ」の出店実現に関する請願

請願者 飯野地区区長会長ほか27人
経済効果を期待できるとして出店実現を町に求める。議論を要するとして継続審査とした。

意見書提出を求める請願

「遣伝子組み換えイネ」を学校給食に使用しないこと、並びに、その承認と表示に関して国への意見書提出を求める請願

請願者 富山県農業協同組合労働組合
食品の安全を求める意見書の提出を町に求める。賛成全員で採択し、意見書を国に提出した。

条例・規則

入善町手数料条例の一部改正

住民基本台帳カードの交付手数料を加える

賛成全員 原案可決

入善町国民健康保険税条例の一部改正

医療分の税率を引き下げ、介護分を引き上げる

賛成全員 原案可決

その他2件の条例一部改正

賛成全員 原案可決

固定資産評価審査委員を選任

広野力氏の再任に同意

6月30日で任期満了となる広野力氏（入善町青木1451番地）の再任に同意した。任期は平成15年7月1日から3年間となる。

五十里議長

県町村議長会長に就任

「地方自治の確立には税財源の確保が第一」

6月25日に開かれた富山県町村議会議長会の臨時総会において、町議会の五十里隆章議長が会長に選任された。任期は同日から2年間となる。



就任の挨拶では「社会情勢の変化や市町村合併の動きが進む中で、地方は様々な問題を抱えており、地方自治の確立は税財源の確保が第一である。県や国に対して真剣に要望していきたい」と述べ、出席者に支援と協力を求めた。

委員会レポート

総務

Q ケーブルテレビ番組制作委託料1000万円の内容と委託先はどこか。

A 所管がいくつにも別れ、わかりにくい。一元化すべきだ。15分番組作成に12万5000円で、年53回作成する。町の委託先は新川インフォメーションセンター。

Q 統括的な窓口は企画広報課だが、番組制作などの実務は保健情報室で行う。

A SARS（新型肺炎）対策12万円で、十分な対策が可能か。また、研修は受けているか。

Q マスク、ゴーグルなど最低限必要な消耗品を要求した。県で救急担当者を集めて研修を行う。

こんな意見も

Q 住民基本台帳のカード作成は住民に知られていない。説明が必要。

A 公共施設の解体費用が高いのでは。適切な積算を行い町外業者の参加も検討すべきだ。

Q ケーブルテレビの番組内容は住民の期待に応え、魅力あるものにせよ。

A 国保税の平等割、均等割りが高い。できるだけ引き下げを望む。



写真入りカードの見本(写真なしもあり)

教育福祉環境

Q 当初予算にあったケアネットセンター運営費265万円が、全額減額になるのはなぜか。

A 前年度まで別の事業名で県から補助が出ていたが、今年度、町は対象にならなくなった。見通しが甘かった。

こんな意見も

Q 子育てサポート事業を社協に委託するのは安易ではないか。

A 社協への委託事業が年々増えて、丸投げのきらいがある。所管の責任を果たすべきだ。

Q 当初予算の見通しが甘い。補正を安易に考えていないか。

Q 在宅障害者デイケア事業は、当初「おあしす新川」が行う予定だった。なぜ突然町が事業主体となって委託するのか。

A 「おあしす新川」で事業認可を受ける予定だったが、様々な厳しい条件があり、4月に断念した。

Q ゴミリサイクルの経費は少なくない。経済効果はどうか。

A 4月からの新たな取り組みで約100トン増えた。焼却や埋立地をつくる費用を考えれば、リサイクルが得策。

Q 中学校の耐震診断の費用が高いのでは。これまで業者は経験を積んできており単価は下がるはずだ。

A 業者と話し合い、もう少し下げられるようにしたい。

産業経済

Q 藻場造成調査はどのような内容か。排砂の影響も調査するのか。

A 海藻類の生息が悪化しているので、基本ブロックと石を投下するための調査を行う。この調査は、排砂の影響を対象としていない。

Q 藻場造成の費用とその財源は何か。

A 2箇所8000万円。国、県の補助で行い、町分は漁業振興基金を利用したい。

Q 基金は、浄化センターの事故による被害に備えて積んだもの。藻場造成に使えるのか。

A 基金の使用については今後、十分協議する。

Q 商工会への職員の出向は取りやめると言っていたが、なぜ出向させたのか。

A 当初見込んでいた県からの職員派遣がなくなった。町の合併50周年事業と商工会の事業がバッティングしている。連絡を密にすべきだ。

Q 町内の合併50周年事業と商工会の事業がバッティングしている。連絡を密にすべきだ。

常任委員会・特別

A いたらぬ点があった。調整を進めている。

こんな意見も

◎合併前に何でもやろうでは困る。どの事業をすべきかしっかりと判断を。
◎補助金のはけ口が、七夕祭りに行くのではだめだが、財政難の折、請願が出されたからと安易に補助もできない。
◎ムサシの出店については、具体的な計画が出されていないし、当局の土地利用計画もできていない。もっと議論をしていくべきだ。

合併問題

7月2日の合併問題特別委員会では、議会側があらかじめ当局に要求していた資料を中心に論議した。

①1市3町それぞれ単独の場合及び合併した場合の財政計画の見直しについて
(財政計画は入善町のものが提出されなかった)
Q 1市3町の合併後の財政見通しの資料がなければ判断できない。



舟見七夕祭り

A 今の段階では不透明な部分が多く責任がもてない。建設計画が具体化してくれば明らかになる。

Q 合併にはビジョンが必要。早めに取り組まないから資料が出せないのでは。

A 今取り組んでいる最中。
Q 合併特例債の活用計画について
(特例債は、道路や橋、公園、公共施設の整備など投資的経費を対象にしたもの。町としては事業計画の見直しを行っているところであり、具体的な計画づくりはしばらく時間があるとして、資料は示されなかった。)

Q 総合計画では17年度まで事業計画が示されている。重点項目は明らかにできるはず。
A 町単独ではできなくとも合併した場合に地方債を当てられる事業も出てくる。それを区分しながら計画を進める。

Q あさひ総合病院の借金は入善町民の負担になるのか、深層水の健康施設には特例債が使えるのかなど町民は関心を持っている。当局は十分な説明をすべきだ。

A 今までの総合計画は、財源の見通しで先延ばしや前倒しをしてきた。

合併が前提になると、どの事業に特例債を使うか吟味しなければならぬ。

Q 各市町で起債や基金の額が違うが、平準化のため合併特例債を使えるのか。

A 借金も財産も新市に引き継ぐ。特例債は使えない。

③新庁舎、行政組織、職員的身分などの行政機構はどうなるか
Q 分庁舎方式が決定しているとのことだが、住民は必要に応じて行く場所が違ってくるのか。

A 分庁舎方式にも、総合支所方式と機能別方式の2通りがあり、今後の議論で決定される。

Q 黒部市に新庁舎をつくるという噂が流れ、住民から議員の考えを問われる。統一した見解を説明すべきだ。
A 新庁舎のことは、いっさい協議されていない。特例債を使うかを含めこれから協議されることである。

町政のここが聞きたい そこが知りたい

(10人の議員が登壇)

第12回定例会

代表一般質問

庁舎4階議場横の喫煙場所が撤去された。禁煙の実行とのこと。6月議会は5日より開催され、代表一般質問は、11日・12日に行われた。初のケーブルテレビ放映で議員、職員ともいつになく緊張した。質問直後から住民からの電話がなり、大きな反響であった。

(質問・答弁の内容は個々の議員がその要旨をまとめたもの)

元島正隆

21世紀の会
(7P)

- ・合併特例債を活用しての新市建設計画を示せ
- ・生き残れる農業政策は

本多幸男

政策フォーラム
(8P)

- ・合併議論の現状は実質「編入合併」ではないか
- ・町西部地区における農・漁・商工業の振興策について
- ・主権者は住民という考え方に立脚して、明るいまちづくりを進めよ

九里郁子

日本共産党
(9P)

- ・足りないデイサービス、民間支援など積極的に取り組み
- ・高齢者の高額医療費払い戻しの簡素化を
- ・町はダム建設費を負担するな
- ・発動させてはならぬ有事三法

松田俊弘

(10P)

- ・なぜ公開しない、合併後の財政収支の見通し
- ・町長は「合併協議会だより」の事前印刷を了承したのか
- ・あさひ総合病院の建替えに同意したのか
- ・入札指名除外の理由を公表せよ

佐藤一仁

(11P)

- ・新市名の一般公募に小中学生の参加を求めよ
- ・土木業者のランク見直しの主眼点はなにか
- ・入善高校の制服購入を町内業者で

上田健次

(12P)

- ・SARS危機に対し具体的な方策と対応をしているか
- ・海洋深層水健康増進施設計画をどう進めるのか
- ・安全で安心して暮らせるまちづくりに努めよ

東狐和

(13P)

- ・合併50周年、コスモホール記念コンサートの企画は
- ・資源ゴミ収集の見込みは
- ・町の「少子化プラスワン」の対応は他町村と比べてどうか

大橋美椰子

(14P)

- ・健康福祉特区で福祉施設の相互利用を
- ・ボランティア(有償・無償)の育成計画を示せ
- ・受動喫煙の被害防止策を示せ

松沢孝浩

(15P)

- ・ケーブルテレビの番組制作をどう取り組むか
- ・将来のケーブルネットワークの基本方針は
- ・ケーブルテレビの加入促進をどう図るか

中瀬範幸

(16P)

- ・働く場の確保と子育て支援で、人口減少に歯止めをかけよ
- ・元気が出るまちづくりのために交流人口を増やせ

議会事務局に議事録があります

合併特例債を活用しての新市建設計画を示せ

元島 正隆 議員

町長

各市町の総合計画を基本に協議会で決定する

問 新設対等方式での「1市

3町合併協議会」が設立したが、入善町最後の首長としての所信を問う。また、今後の経過をどのように町民に知らせるのか。

米澤町長 6月2日、県知事から合併支援重点地域の指定通知を受け、いよいよ本格的な協議が進む。

農業を取り巻く環境や雇用状況、確実に減少している人口など厳しい今日、町民へのサービス水準を保つことが困難である。

緑と水、自然に恵まれた町を、未来の子供たちに残すには、合併によるスケールメリットを活かしたまちづくりが不可欠であり、不転の決意で取り組む。

合併に関する事柄を、ケーブルテレビや広報などで随時

経過説明する。

問 新市建設計画を策定するには、各市町で企画されている総合計画のローリングが必要であり、特例債を活用しての新計画をどう進めるのか。

町長 特例債ありきではなく、どのように活用していくかを

十分に検討しながら、制度を利用していきたい。

新市建設計画は、基本的に各市町の総合計画を基に策定するが、各市町の総合計画に年次のズレがあり、案が出そろうには時間がかかると思われる。優先する事業の順位、

特例債の充当事業は何か、協議会で決定する。

当町では、総合計画策定の庁内会議を開き、平成17年度までの前期計画の見直しと、新市建設計画に合わせた後期計画策定を指示したところである。

生き残れる農業政策は

町の農業の特色ある産地づくりに着手

問 世界貿易機関(WTO)の農業交渉において、コメの関税が45%も削減されれば、輸入米と国産米がほぼ同じ値段になる。これでは日本の農業は壊滅的打撃である。政府や農業団体の猛反対でこの交渉は決裂した。

最終結論が出ていない今日、最悪の完全自由化になっても生き残れる農業政策の骨格が

できているのか。

夢の持てる農業のために相談窓口としての農業公社は、所期の目的に沿って運営しているか。

浜田農政課長 全国有数の良質米生産地であり、農業振興に力を入れていることから、コメの急激な市場開放には町は大反対の姿勢で、県及び町村会などを通じて国に強く要請する。

来年度から始まる新たな米政策改革大綱を踏まえ、町農業の特色ある産地づくりを、行政、農協、関係機関と協議し、全町一体となって取り組む。

今年4月に開設した農業公社は、①農地、農作業の委託のあつせん②特産物も含めた農業後継者の育成③ふれあい交流、地産地消、放棄田対策などを柱として、本町農業の未来を開く活性剤として運営しているところであり、町も総力を挙げて応援する。



1市3町合併協議会

合併議論の現状は実質「編入合併」ではないか

本多 幸男 議員

町長 対等・互恵で臨み信頼関係を深めたい

問 我が国は今、悲惨な敗戦から58年目を迎えた。その反省から生まれた憲法第9条を忘れてはならない。「有事法制三法」「イラク新法」など堂々と国会を通過する状況であるが、いかなる事態も戦争に加担することは厳に避けるべきである。

同時にテロ行為の防止、拉致の全面解決を図れるよう全力を傾注すべきである。

以上の事を強調して政策フォーラムを代表し、質問したい。

1市3町の合併議論は、法定協議会の進め方を見る限り、対等・互恵になっていない。このまま進むと編入合併になるのではないかと町長の決意を聞きたい。

町長 対等・互恵で臨み、考えを率直に議論し、信頼関係を深めることが大切である。

問 町西部地区における農・漁・商工業の振興策について、海洋深層水事業と連動して早急に推進すべきだ。町当局の方針を示せ。

飛田商工観光課長 飯野地区の国道8号とJR線間に400ヘクタールの農地が広がる。国道バイパスや平曾川国道

線が供用されれば商工業の開発が予想される。

今後は、農業、商工業のバランスのとれた発展を心がけていきたい。

問 「三位一体改革」について町長はどのような所見を持っているか。

町長 論議されている内容は、地方交付税や補助金をカットして税源移譲は先送りするというものであり、たいへん遺憾に思っている。

地方自治体の財政事情が極めて厳しい状況にあり、県や市町村会と共同して強く国に働きかけていきたい。

主権者は住民という考え方に立脚して、明るいまちづくりを進めよ

公平・公正な行政行為が大切である

問 公共事業の指名競争入札は公平・公正に実施されているか。町長のやり直し選挙から10カ月経過したが、今だに町民から「選挙の怨念」だとか「論功行賞」とか意見が消えていない。

この際、主権者は住民という考え方に立脚して明るいま

ちづくりを進めよ。

その上で全町民一丸となって市町村合併に結束できないものか。

本多助役 平成13年に施行された「入札適正化促進法」では、入札及び契約の透明性を図るため、入札監視委員会などの第三者機関の設置を示しており、本町も設置に向け検討したい。

関係法令や規定などを遵守し、公平で公正な指名に努める。

問 本庁及び出先機関の人事並びに各種審議会の人事、入選は適材適所で実施されていると思うか。

町長 前年度から13人減の316人の職員数で、市町村合併、ケーブルテレビ、農業公社、新規事業の4点に重点を置き適正に人事を行った。

各種審議会委員の選任は、人格識見、専門的知識、経験、行政識見の見地から入選に当たっている。



合併3年目の潮来市を視察

足りないデイサービス、民間支援など積極的に取り組み

九里 郁子 議員

健康福祉課長

民間での実施希望があれば協力・支援したい

問 年金が下げられるなかでの介護保険料の引き上げは、特に低所得者の暮らしを直撃する。介護保険組合が独自につくった保険料減免と、在宅サービス利用料を2分の1にする制度の適用者は何人か。

デイサービスが施設の定員制限で、利用者と介護者にしわ寄せがきている。定員を増やすと同時に、町が空家などを改修し施設をつくったりして、社会福祉協議会や民間介護サービス業者の協力を得るなど積極的に検討すべきである。

井田健康福祉課長 保険料、利用料とも適用者はいない。

デイサービスは、おあしす新川が5月から定員を30名から35名に増員した。舟見寿楽苑も増員を検討していると聞いている。

町内の病院が、リハビリ中心のサービスを6月中に開設することである。民間企業から介護分野への進出の相談もあり、デイサービス実施の希望があれば協力や支援をしたい。

高齢者の高額医療費 払い戻しの簡素化を

優れた自治体の方法を 学んで検討したい

問 昨年10月から医療制度が変わり、高齢者は窓口でいったん1割もしくは2割相当分を払う。自己負担限度額を超えた分を払い戻してもらうには、役場に申請書を書きに行かなければならない。高齢者は大変である。払い戻されていないのはいくらか。

お金は2年経つと町の会計

に入る。手続きを簡素化する考えがあるか。

健康福祉課長 手続きの済んでいるが、10月から230万円が払い戻されていない。優れた自治体の方法を学んで検討したい。

町はダム建設費を負担するな

2市3町で協議していく

問 2市3町の日本共産党議員団は、宇奈月ダム湖を水源とした上水道計画はないとした

て、県に建設費の一部を負担させないよう要求し続けてきた。

5月に交渉の際、とりあえず5年間、町に負担を求めないとのことだったがどうか。

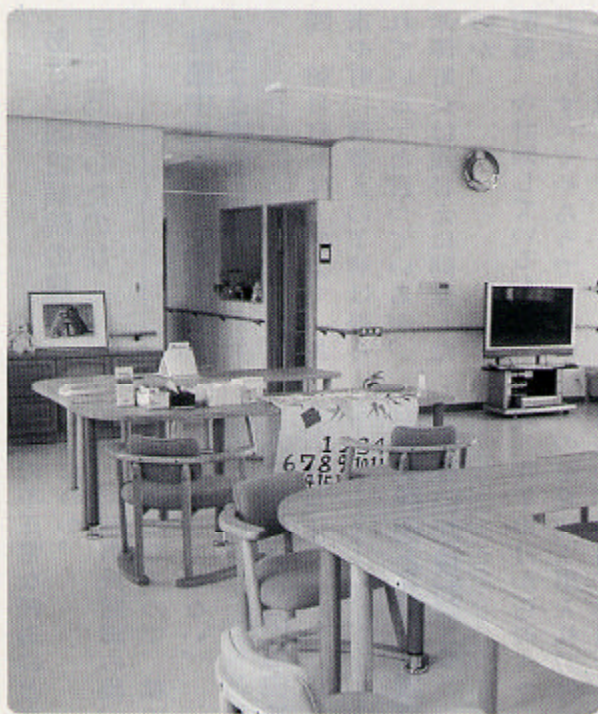
町長 町の建設費負担額は約6千万円だが、現在その通りで負担していない。別に2市3町にダムの維持管理費年間約1900万円の負担要請がある。協議していく。

発動させてはならぬ 有事三法

平和行政に取り組んでいく

問 有事三法は、アメリカが海外で引き起こす戦争に、自衛隊が武力をもって参戦し、罰則つきで国民と地方自治体を強制動員する危険な本質がある。町長の見解を問う。

町長 ひき続き平和行政に取り組んでいく。



鳴田医院に新設された通所リハビリ施設

なぜ公開しない、合併後の財政収支の見通し

松田 俊弘 議員

助役

1市3町で公開しないことに決めた

問 合併した場合と単独の場合、それぞれの財政見通しを明らかにすることが、合併を論議する大前提である。黒部市が、市議会に提出したものを、なぜ町は議会に明らかにできないのか。

助役 資料的なものとしてつくったもので、1市3町で公開しないと決めた。

町長は「合併協議会だより」の事前印刷を了承したのか

私は知らなかった

問 5月26日の合併協議会の設立前に「協議会の内容を伝える」とする「合併協議会だより」が印刷されていた。

合併協議会は、1市3町から選ばれた32人の委員の協議によって進められるべきであり、事前に印刷するなどは、委員を無視する行為である。

町長はこれを了解したのか。

町長 私は知らなかった。真摯に受けとめ、こうしたことがないように努める。

あさひ総合病院の建替えに同意したのか

計画中のものは全部やろうと確認した

問 朝日町長は、議会で「各市や町に建替えの了解は得られている」と言っているが、米澤町長は建替えに同意したのか。

町長 今計画しているものは、お互いすべてやろうではないかと確認した。

朝日町長が、理事長に知らせず決裁したこと、どう対応したか

私のところに決裁書は上がってこない

問 ケーブルテレビ事業は当初、魚津市を含む2市3町で行い、経費を抑える計画だった。ところが、なぜかこの計画が変更された。

このときの変更申請の決裁が、理事長である魚津市長に知らされず、副理事長の朝日町長が理事長印を押し、総務省に送られた。米澤町長は、

一連の不正な経過にどう対応したのか。

町長 副理事長回議の後、理事長決裁となるので、私の方へは上がってこない。

入札指名除外の理由を公表せよ

事業評価と共に公表できないか検討する

問 昨年10月からのAランクへの町発注工事入札27件で、連続して26回、23回と2社が

指名から外されているが、理由は何か。

指名除外をするときは、理由を明らかにし、公表すべきだ。「政争の町」と言われなために、行政は公正な入札を徹底せよ。

大角財政課長 1社は工事関係者の事故、町有地の無断使用、工事の施工不良であり、他の1社は救急隊員への不祥事が理由。

今年度、事業評価を公表するので、合わせてできないか検討する。

○は指名 ●は落札 1社は中途から経営不能

入札日	Aランクの業者												
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
10/16	○			○	●	○	○	○			○	○	○
10/18	○	○				○	○	○		●	○	○	○
10/29	●			○	○	○	○	○					
11/12			○	○	○	○		○	○	○			●
11/13	○			○	○	○		○	○		○	○	
11/14			○	○	●	○	○	○	○	○			○
11/18		○	○	○	○		○	○	●	○		○	○
11/21	○			○	○	○	○	○			○	●	
12/25	○			○	●	○			○	○	○	○	○
12/26			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/26			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/8			○	○		●	○	○	○	○	○	○	○
1/8	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/8	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2/13	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2/26	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/6	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/20	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/20	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/25	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/25	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/27	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/27	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/31	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/31	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指名数	20	1	19	24	25	25	22	21	-	22	23	4	22
除外数	7	26	8	3	2	2	5	6	-	5	4	23	5

新市名の一般公募に小中学生の参加を求めよ

佐藤 一仁 議員

町長

学校のクラスごとにまとめて受け付ける

問 1市3町の合併協議会が5月26日に設立され、新市名の公募締め切りが7月15日になっている。性急な気がするがなぜか。

また、新市名の募集に際し、

町内小中学生の参加を求めようか。

町長 合併協議会の設立をうけ、募集開始をした。

読み書きが容易で親しみやすいこと、地理・歴史・文化

を表す、夢や期待がふくらむなどを選考基準とし、応募制限がない。役場ロビーでも応募箱を設置した。各学校のクラスごとにまとめてファックスでも受付できるように特例を認めた。

土木業者のランク見直しの主眼点はなにか

公正な競争、適正な施工の確保

問 2年に1度の町内土木業者のランク見直しが行われたが、Aランクでは総合評価が以前の800点から850点に引き上げとなった。

また、工事発注基準額が3000万円から2500万円に引き下げられ、かつA・Bランク混入の入札も有り得る

とのことだが、このことによつてどのような効果が生ずるのか。

助役 適正な工事の完成を図るために、土木業者に限りA・B・C・Dの4ランクの格付けをしている。

本年度は、入札参加資格審査申請書を受け付ける年で、国土交通省や県の発行する経営事項審査結果通知書を基に格付けを行っている。

町がランクにふさわしい業者選定をする観点から総合評価を見直した。また、指名回数均等化の観点から工事の発注基準についても見直した。

今回の見直しにより、柔軟な指名が可能となり公正な競争、適正な施工の確保ができるものと考えられる。この基準で公平、公正な指名に努める。

入善高校の制服購入を町内業者で

町として学校へ相談したい

問 入善高校の制服が町内衣料品店で購入することができないのはなぜか。

西田学校教育課長 高校は県の指導管轄下であり、高校側と業者間の問題と認識する。町教育委員会としても限界がある。

しかしながら、町内商店の活性化の観点から、町内衣料品店でも購入できるように学校側へお願いすることも大切と考える。町内衣料品店と高校との話し合いを期待する。



通学する入善高校生

SARS危機に対し具体的な方策と対応をしているか

上田 健次 議員

町長 正しい知識の普及をはかり冷静な対応を求めている

問 SARS（新型肺炎）の危機に対応した具体的な方策を考え、かつ万全の対応をしているのか。患者が発症した場合、救急隊の患者搬送に対して消防署の対応はどうか。

町長 W H O では世界各国に「緊急渡航情報」を発信し、不用不急の旅行を延期するよう勧告した。国内においても、監視体制を強化し感染拡大を阻止する措置が取られている。県では、具体的なシミュレーションをもとに「富山県対応行動計画書」を作成し、冷静な対応を求めている。

町として、県や関係機関と緊密な連絡をとり、正しい情報の提供と相談に対応したい。

岩田消防署長 救急隊員及び救急車の隔離などを関係機関と協議した。搬送時の感染防止のため隊員に使い捨てのゴム手袋などを使用し、患者には手術用マスクをかけさせ、町民並びに隊員に不安を与えないようにする。

問 町外で消防隊員の公務中の事故が発生している。消防職員・団員の安全指導はどうしているか。また、補償制度はどうなっているか。

消防署長 日頃から訓練を実施し安全確保の徹底に努めている。職員は公務災害補償制度、団員は消防団員福祉共済制度に加入しており、万全の体制を期している。

海洋深層水健康増進
施設計画をどう進めるのか

「新漁村コミュニティ
基盤整備事業」採択
を前提に計画

問 非水産部門の健康増進施設計画はどの様な形で進んでいるのか。どんな事業展開を目指しているのか。

町長 水産庁は、今年度から「新漁村コミュニティ基盤整備事業」を創設した。この事業の採択を受けることを前提に、合併後の黒部川扇状地のセンターゾーンに深層水を利用した交流拠点を整備し、地域住民の健康づくりを図る。

専門のコンサルタントを交え、全体構想を8月まで策定し、10月からはウエルネス施設の基本計画を策定する。

安全で安心して暮らせるまちづくりに努めよ

関係者と連携を取りながら地域ぐるみの犯罪抑止運動を図る

問 中央トイレ、駅前駐輪場のセキュリティ対策、「子供110番の家」の実態と防犯灯の設置状況はどうか。

中島総務課長 駅前駐輪場に防犯カメラを設置しており、カメラの効果が発揮されている。

。中央トイレは、当面、入善警察署にパトロールの強化を要請している。防犯カメラの設置などを検討しているが、プライバシーの問題もあり今後、関係機関と協議をしたい。

「子供110番の家」は子どもたちの緊急時の駆け込み場所となっており、被害を未然防止し、地域ぐるみの犯罪抑止運動を図る。防犯灯の設置数は、2448カ所である。



SARSに備える救急隊員

合併50周年、コスモホール記念コンサートの企画は

東狐 和議員

生涯学習課長 スポーツ課長

国の内外で高い評価を 受けている方々のリサイクルを

問 世界的アーティストが来るコスモホールは評価が高く、その恩恵に浴する町民は誇りと幸せを思う。イベントは町をPRする絶好のチャンス。どのような記念コンサートを企画しているか。

また、町民総参加型の企画や、総合的芸術鑑賞の企画はされているか。

専門職員の配置による行政サービスの向上を図れ。

金森生涯学習・スポーツ課長

7月27日に諏訪内晶子ヴァイオリンリサイタルやセルゲイ・ナカリヤコフのトランペット演奏会、森麻季のソプラノリサイタルの3本を企画。

また、少年少女合唱団「くびりど」や地元合唱団、中高生のプラスチックバンドなど、合併50周年事業として意義あるコンサートとなるよう考えている。

また、総合的芸術文化の振興に努めたい。

専門的知識をもった職員を確保したいところだが、現状は3名だ。より質の高い音楽や舞台を見るためにも高い技術をもつ職員の配置は必要であり、検討したい。

資源ゴミ収集の見込みは

平成9年の2倍の見込み

問 4月から紙製及びプラスチック製の容器包装が資源ゴミとして収集に追加されたが、住民へのPRが不足していないか。高齢者にわかりやすく

なっているか。また、資源ゴミ収集の見込みはどうか。

福沢住民環境課長 新規事業



オープンした「リサイクル館」

の実施では、町民への周知徹底が最も大切であり、広報「クリーン入善」やケーブルテレビで情報提供している。

資源ステーションへの町職員の派遣などで対応した結果、資源ゴミの収集量が増えている。

平成9年の2倍になる見込み。町民のご協力に感謝してリサイクル推進をすすめたい。

町の「少子化プラスワン」の対応は他町村と比べてどうか
近隣市町の動向を見ながら検討する。

問 町の女性が生涯に生む子どもの数は、全国や県と比較してどうか。

昨年度、国が打ち出した少子化対策「少子化プラスワン」での町の対応はどうか。

健康福祉課長 平成14年では全国1・32人、県が1・41人、町は1・33人で県下では低い。中塚保健情報室長 厚生労働省の「少子化プラスワン」には、不妊治療対策の充実と支援のあり方の検討が盛り込まれている。

県は今年10月から不妊治療費の助成制度をスタートさせ、子づくりを支援することになった。

町も近隣市町の動向を見ながら最善の方法を検討していきたい。

健康福祉特区で福祉施設の相互利用を

大橋 美椰子 議員

町長 相互利用でなく、専門施設の整備を進める

問 「健康福祉特区」では、高齢者、障害者、児童など利用者別に設置運営されている施設で、対象者を限定せずに福祉サービスを提供している。高齢者の通所介護（デイサービス）施設で身体・知的障害者、児童も利用できる。

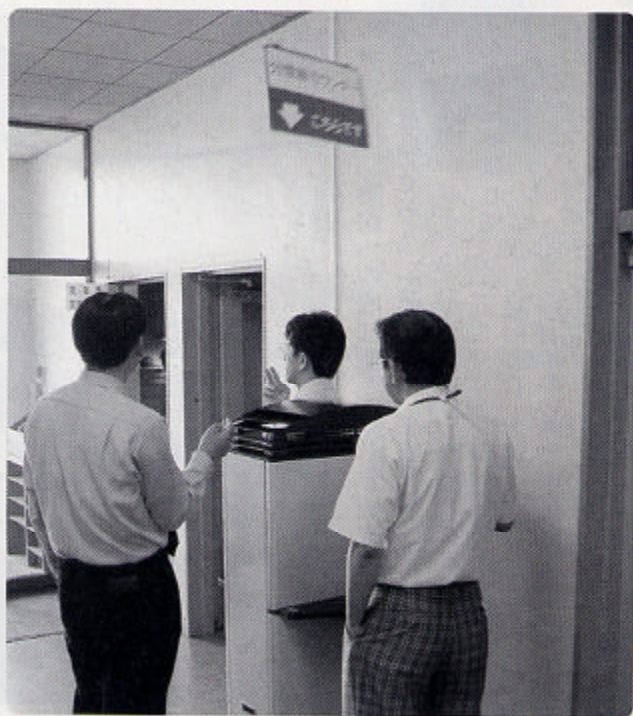
新たな事業の参入も促し、雇用の増加など施設の相乗効果にもつながり、利用者本人や家族の負担も軽減する。

町として健康福祉特区への取り組みを求める。

町長 身体障害者のデイサービスは「おあしす新川」に委託する形で実施している。各種福祉施設での相互利用については、ワンストップサービスの利点もあるが、職員が専門性に欠けることや設備対応が整っていないなどの問題点もある。

福祉サービスの提供量が不足している部門では、既存の福祉施設の相互利用を考えるより、専門施設の整備を進めることが本筋。

福祉特区の申請というより、皆さんに一番喜んでいただける形での福祉サービスの提供に努める。



昼休み 分煙カウンターで一服

ボランティア(有償・無償)の育成計画を示せ

今後検討したい。今回拠点施設の整備を計画した

問 町がボランティアコーディネーターを社会福祉協議会におくのでは、ボランティアの育成、社協にお任せだ。町として有償・無償のボランティアの育成をどう計画しているのか。

健康福祉課長 今回、県の補助事業を活用し、拠点となる施設の整備を計画した。

社会福祉協議会の中に、ミーンティングや作業などを行うためのスペースを確保し、備品も配備する。社協と連携しながら、ボランティアの発掘や育成に積極的に努める。

拠点施設の整備が活動の活性化の起爆剤となり、誰もが参加できるように、また、みんなが助け合って楽しく暮らせる「明るい福祉のまちづくり」の実現に向け努力する。有償によるボランティアの仕組みづくりについても、今後検討したい。

受動喫煙の被害防止策を示せ
公共施設や職場での分煙の徹底、知識の普及を促す

問 健康増進法が5月1日に施行され、他人のたばこの煙による受動喫煙の防止規定が明記された。第25条に努力義務が課せられたが、管理者と住民側への具体的な取り組みを示せ。

保健情報室長 国は①喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及②未成年者の喫煙の根絶③公共の場や職場での分煙の徹底及び分煙知識の普及などを目標としている。

町としても公共施設や職場での分煙の徹底、分煙知識の普及に努めている。

幼児については、母子健康手帳交付に際しての指導や、ケーブルテレビを利用して知識の普及に努めている。

小中学校では養護教諭との連携で、高校では県が巡回して、喫煙が及ぼす健康影響などについての知識の普及に努めている。

ケーブルテレビの番組制作をどう取り組むか

松沢 孝浩 議員

町長

「住民が主体」を基本に番組制作・構成に取り組む

問 行政・コミュニティチャンネルでの地域密着の番組制作が肝要。町民自ら番組の取材・制作に携わることができ

るのか。
町長 ケーブルテレビの加入率は64%であり、1市3町の地域情報を「みらーれテレビ」が主体となり2時間番組を制作している。

また、各市町が15分番組を制作し、計3時間を1日5回放送。1週間単位で内容を変更している。

編成のすき間にはNHKから番組を購入し放送している。番組制作に当っては「住民が主体」を基本に、行政情報だけでなく、地域の情報や頑張っている人々を取り上げていきたい。
保健情報室長 自主制作番組は、町民から親しまれ、活用

される番組にしたい。

街頭インタビューでは、町の話題・出来事・イベントなどをニュース形式で制作し、「わくわく元氣人」ではグループ活動の紹介をしている。

そのほか「町で見つけたあんなこと」では、ナレーターとして、入善高校生に番組制作に参加してもらった。

また、番組サポーターを町民から公募し、取材及び制作のできる人の養成に努め、町民参加型に心がける。

将来のケーブルネットワークの基本方針は

住民の健康・福祉の向上を図る

問 広帯域双方向通信機能をいかした将来のケーブルネットワークの基本方針を問う。



みらーれテレビ取材風景

町長 町内のインターネットの加入率は、21.5%と1市3町でも高い。ケーブルネットワークはさまざまな可能性を持ち、インターネット回線を活用したIP電話の普及、デジタル映像の受信などが考えられる。

また、本年度は、全国的に

総合行政情報ネットワークが構築され、町も参加する。国、県、市町村が専用回線をつながら、インターネットによる電子申請や合併後の庁舎間の情報通信などに対応できる。

また、在宅での健康診断や高齢者ケアなどの健康・福祉での活用が考えられるが、課

題も多い。

いずれにしても、ケーブルネットワークの機能を活用し、住民福祉の向上を図ることが導入の目的でもあり、さまざまな方面からの活用をすすめていく。

加入促進をどう図るか

地上波デジタル化の機会に加入促進に努める

問 多くの分野でケーブルテレビ事業を進める時、加入率が一番の問題である。どのように加入促進を図るか。

町長 2011年にはテレビの地上波デジタル化に完全移行する。現在の家庭などの受信システムでは対応できず、この機会に加入を促進したい。また、パソコン講習などを引き続き開催し、インターネットの普及によっても加入促進に結び付けたい。

働く場の確保と子育て支援で、 人口減少に歯止めをかけよ

中瀬 範幸 議員

町長

深層水コンビナート、 農業の魅力付けで働く場を確保

問 町では、ここ10年間で1352人、4・6%の人口が減り、高齢化比率23・6%と7・2ポイント上昇している。人口減少や少子・高齢化の急激な進行は、地域社会の活力を減退させる。

若者の町外流出を防ぐため働く場の確保を進めよ。まず町活性化の起爆剤、海洋深層水事業での雇用を問う。

町長 あわびの養殖施設、健康ウエルネス施設、製塩事業を核とした食品加工産業などのコンビナート構想を計画して、一部検討が進んでいる。雇用の拡大に大いに期待したい。

問 入善は農工一体の町である。農業の魅力付けで、担い手確保、新規就労者を増やせ。

町長 野菜、チューリップ、スイカ、農産加工などを組み合わせた複合経営で成功している農家を手本に、農業に対する魅力を付加し、意欲を高揚させる。

また新規就労者には県、町から奨励金が支給されるし、農業公社を中心として、経営支援を行っていく。

問 仕事と育児の両立をねらった今年度新規事業子育てサポート事業の進捗は。

健康福祉課長 県の少子化対策推進事業を受け、入善町社会福祉協議会が実施主体となつて9月から運用開始を図りたい。

問 子宝支援金の創設で人口増加を期待しているが、それより先に、結婚の晩婚化が問題となっている。結婚の早期化のための施策はあるか。

健康福祉課長 女性の初婚平均年齢は、27才で晩婚化が進んでいる。行政としては介入しにくい。

元気が出るまちづくりのために交流人口を増やせ

チューリップや海洋深層水など特産物で人を呼ぶ

問 300万本のチューリップフラワーロードは全国に発信できる観光資源だ。町としてもソフト・ハード面でもっとバックアップすべきだ。

商工観光課長 雪を頂く北アルプスを背景に花のじゅうたんとして、全国にPRしている。イベント会場としては、

運動公園周辺が適当であり固定化したい。周辺地権者のご協力が肝要である。

チューリップ畑を見るだけでなく、町の特産品を買ってもらう場所になりたい。

また、町の文化・産業を広めるイベントとして、生産団体、観光協会をはじめ各種団体との連携を密に集客をねらいたい。

問 今や入善海洋深層水は、全国に発信できるブランドとして成長してきた。海洋深層

水祭りの実行委員会を広く呼びかけ、園山周辺一円で、町を挙げての一大イベントにする気はないか。

鍋谷海洋深層水課長 今年度も7月19日開催する。昨年以上に多くのイベントを計画している。来年度は、ぜひそのように取り組んでいきたいと考えている。



今年もありがとう フラワーロード

町の誇れる資源、海洋深層水シリーズ!!

今回は、入善沖の「海洋深層水」を使用した健康増進施設の計画について説明します。

健康増進施設を

交流拠点に

町では、以前から深層水を活用した「健康増進施設」の構想を持っており、これまでも何度か議会の中で協議を重ねてきました。

現在、海洋深層水課が中心となり、新たな交流拠点になるような計画づくりを進めています。

タラソテラピーって

何のこと

「タラソテラピー」とは、ギリシャ語の「タラサ（海）」を語源としています。海辺の気候や海水、海藻など海の資源を活用しながら、自己治癒力を高めていく自然療法のこととで、主に「海洋療法」と訳されます。

先進国フランスでは、ストレスをはじめ様々な現代病に効果を発揮することから、スポーツ選手や俳優、モデルなど多くの人々がタラソテラピー

ーを利用しています。

日本では、滑川市の「タラソピア」や千葉県勝浦市の「テラムマラン」青森県市浦村の「シーうらんど海遊館」などでタラソテラピーの体験ができます。

健康づくりの社交場

青森県市浦村にタラソテラピー施設がオープンしたのは3年前。

高松村長は「人口3千人の

小さな村で高齢者が非常に多く、医療費負担軽減のためにこの施設の整備に取り組みました」と話します。

利用者も「村のバスが送迎してくれるので健康づくりの社交場になっています」と喜びの声。

この施設を運営する会社のマネージャー斎藤さんは「これまでの温泉タイプの施設とはまったく内容が違うもの。海水を使って積極的に健康増進や病気の予防、快復を行うシステムです」と話します。

市浦村の施設は約8億円を

高齢化社会に

備える施設

かけて建設され、表層水を利用して使っています。村は年間2000万円を負担していますが、2年間で約5000万円の国保の医療費が減っています。

昨年11月に町が主催した千葉県勝浦市のタラソテラピー体験ツアーには25人が参加。3時間程度のメニューを体験しました。

研修後のアンケートでは、75%の人が「住民が健康増進に気軽に利用できる手頃な施設を検討すべき」と回答しました。

また「施設運営費用や料金体系のことも含めて、子供から大人まで誰もが利用できる施設になれば」「高齢化社会に備える意味でも健康増進につながる施設は重要」「何度も行きたくなるような仕組みや環境づくりが大切」という声が寄せられました。



青森県市浦村の「シーうらんど海遊館」

リフレッシュして仕事や生活を楽しむ

入善町に移り住んで

上飯野新 大橋 行 正

(兵庫県姫路市出身)

私達は仕事の関係もあり、千葉、埼玉、栃木を中心に、北海道や海外でも生活をしてきました。4年前に入善町に

来ましたが、最初に感じたことは、自然がいっぱいだということでした。シロウマサイエンスの会社案内を見た時、美しい山々を背景にした写真が目に入りました。

入善町の良さは、豊かな水、美味しい魚、米は勿論ですが、住んでいる人達の勤勉さだと思います。

入善町はサークル活動が盛んな所で、詩吟、絵画、陶芸、囲碁などのサークルに多くの人達が参加しているようです。私も町の英会話サークルに参加しています。サークルでは町の人達と知り合いますし、米国人の若い先生を中心に、家族、政治、社会、趣味などを話題にして楽しんでます。休日には読書をしたり、プ

ールへ水泳に行ったりして、自分の趣味の時間を持つようになりました。

今までは通勤に時間をとられ、なかなか趣味を持つことが難しかったのですが、入善町に来てからはリフレッシュして、仕事や生活を楽しんでいます。これは入善町の自然や、町の人達、会社の人達のお陰だと感謝しています。



入善むかし話

(森 清松編より)

「親鸞上人腰かけの石」

土御門天皇のとき、範宴(親鸞上人)は、称名尊念の禁(なむあみだぶつをとなえること)によって往生できるといふ浄土宗・真宗を禁ずる)によって、佐渡へながされることになりました。

そのとき、小摺戸を通られました。そのころの黒部川は、新屋と小摺戸の境を流れていました。そして水かさかふえて渡ることができません。しかたなしに、左岸の赤石に腰をかけ、舟を待たれましたが、渡守の舟越の清左衛門がこないで、とうとう、その林で夜をあかされました。

その後、この赤石が、ながい間土の中にうまっていたましたが、大谷派本山の尋ねにより、ようやく堀りおこして、舟堀にまつられ、いまでもお花のたえることがあります。



親鸞上人腰かけの石(一宿)

編集の窓

夏の海水浴シーズンを前に、各地区の住民やボランティアで海岸清掃が行われている。

空缶やビニールなどのポイ捨てがあとをたたない現状が歴然としている。

6月27日に、出し平、宇奈月ダムの連携排砂が行われた。「排砂の土砂で水田の表面が白く固まる」「魚が獲れない」と住民は訴えている。

行政は、このような声にしっかりと耳を傾けるのは当然だが、われわれ住民も、川や海の環境を守るために、日頃から心がけなければならない。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 松田 俊弘 |
| 副委員長 | 大橋美椰子 |
| 委員 | 長谷 友義 |
| 〃 | 山下 勇 |
| 〃 | 松澤 孝浩 |
| 〃 | 中瀬 範幸 |